５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
草莽荘の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.558-559
若者の森では作業？レク？を交えながら

【定例活動報告】
知足の森

新年度になり新しいメンバーも入り始め、森にも若い歓声が溢れています。初参加者の感想を中心にご紹介します。

今回はスズメバチ対策のトラップの製作・設置と間伐を行いました。スズメバチというとハチの中でも危険で恐ろしいイメージですが、そのトラップは意外と簡単で、酢・みりん・砂糖というどんな家庭にもある身近なもので作ることができることに驚きました。
私は今回が2回目の参加でしたが、前回参加した際に切った木よりもずっと背が高い木を切ったので、ただ切って倒すのではなく倒す方向も考える必要があり、間伐の難しさを感じました。途中、近くの木に引っかかってしまい上手く倒せない場面もありましたが、協力して木を揺らし、無事外して

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

倒すことができました。”木にロープをかけて引いて揺らす”というと「綱引きのようで簡単そう」と思っていたのも束の間、木が重く予想以上に力のいる作業で大変でしたが、声を掛け合い文字通り力を合わせることの楽しさを久しぶりに味わいました。生憎の雨模様だったので、次回はぜひ青空の下で活動したいです。

藤原　唯愛（津田塾女子大学１年）

初めて活動に参加させていただいた日は、午前中に森の間伐、午後に植林された針葉樹の伐採を行った。

午前中の森の間伐では、段々と森が明るくなっていく様子に強い達成感を感じた。確実に一歩一歩進んでいることがよく分かり、楽しかった。傾斜のある森で木を切る際のコツやノコギリの使い方のコツ、複数人で作業をする際に気をつけることなど、多くのことを学ばせていただいた。初めて知ったことの中で特に印象的であったのは、切った木を斜面に対して垂直に置くことである。土砂崩れを防ぐ役割を果たすそうだ。切られた後もなお大きな役割を果たしてくれる木々に対し、尊敬の念がより強くなった。

続いて午後の針葉樹の伐採では、ヒノキの木を倒した。これほど大きな木を切ったのは初めてであったため、木が倒れていく際の迫力に圧倒された。大きな木を倒す際に必要な、受け口と追い口の作り方や木の倒す方向の設定の仕方、切った後の後処理の仕方などを学ばせていただいた。

今回学ばせていただいたことは、大学のサークル活動の際にも大きく役立った。また、ただ単純にとても楽しかった。機会があれば、また活動に参加させていただきたいと考えている。

溝口　奈和（早稲田大学社会科学部2年）

【イベント報告】
間伐材の森の積み木

新型コロナウィルスの感染拡大が続く中、例年４月実施のさがみはら市民さくら祭は中止となりました。その一方で、橋本駅すぐにあるアリオ橋本さんから、イベントとして実施依頼があり、津久井の森の活動のアピール、アウトドアフェスタなどの同店のイベントと連動する形で３万個の積み木、アンコールワット展示を行いました。これまでのその日限りのイベント実施でなく、３月１９日から４月１０日までの長い期間となりました。

長い期間店舗メインストリートに展示されていたため、本当に多くの方に見ていただき、かなりの量のチラシも置かせていただきましたがほぼ配布でき、価値のある積み木活動となりました。

桜井尚武の森のコラム

「ウツギ(*Deutzia crenata*)とマルバウツギ(*D. scabra*)とヒメウツギ(*D. gracilis*)」

図1　ウツギ

20120524新林公園藤沢

図2　ウツギの葉

20220428向島百花園

図3 マルバウツギ

20170603西丹沢大室山

図4　ヒメウツギ

20220428向島百花園

ウツギは北海道から本州、四国、九州の陽当たりのいい山野に普通な樹高2m位の落葉低木です。関東地方では5～6月頃に集散花序、あるいは総状花序にラッパ状に半開した白い花を沢山つけて目立ちます。庭木や垣根でよくみられる身近な植物で、卯の花ともいいます（図1）。葉は広披針形で先は尖り対生、葉や小枝全体に堅い星状毛が多くてザラザラした感触が特徴です（図2）。幹の中心の髄部分が中空なので空木（ウツギ）と名がついたといいます。「卯の花のにおう垣根に・・・」という唱歌は万葉集をはじめとした多くの和歌の本歌取りの詩として有名で、卯の花を主題にした和歌は古来数多い。この灌木は風雅なだけでなく、材が堅く、根株が腐朽しにくいので土地の境界の印に植えられたといいます。実際、土地の境界画定木のウツギの痕跡の真偽を確認するための鑑別専門家として裁判の証拠資料作成協力を依頼された知人がいました。また、木製の家具等工作物が傷まぬように鉄釘の代わりに使う木釘として重用されるなど実用上も重要な木でした。

佐竹義輔外編集の日本の木本植物（1989年平凡社）にはユキノシタ科ウツギ属には7種の記載があります。この中でウツギに次いでよく見られるものにマルバウツギがあります。葉は広楕円形で対生しウツギ同様顕著な星状毛がありザラザラします。花穂のある枝の葉には葉柄がなく茎をを抱くように着きます。分布域は関東以西で山野に普通にみられ、5月から6月の頃ウツギ同様沢山の白い花を咲かせます。花は平開し花弁に稜状の筋模様が見られるのはウツギとの区別点でしょう（図3）。材もウツギ同様堅く木工品を繋ぐ木釘に使われたといいますが、境木（さかいぎ）への利用の記載はみつからず、ウツギほど一般的でないようです。

ヒメウツギはこれも関東以西の山野の岩石地や痩せ尾根など乾燥の強い場所に出現し似たような形状を示しますがやや小振りです。枝葉の星状毛はないか少なくザラザラ感はほとんどありません。花期はひと月ほど早く、4月末に観察した向島百花園ではサツキの蕾が堅い時期に満開でした（図2、図4）。

桜井　尚武（本会、会員）

【GREEN TECH ENGINEER LABの活動から】

東京学芸大Explaygroundでクラウドファンディングを実施しています、ぜひご支援ください

　本会の森林整備活動に参加し、間伐材を活用して活動している学芸大のGREEN TECH ENGINEER ラボで新しいデジタルファブリケーション機材を購入するクラウドファウンディングを実施しております７月１８日月曜日までとなっています。
　間伐材のまな板から、Shopbotを使った看板などが返礼品として用意しております。ぜひご支援よろしくお願いいたします。

ご支援はこちらから→

ShopBot で森をいかす！

コロナ禍の中高生に力を貸してください

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
　　積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
　　コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
　　東京学芸大学環境教育研究センター、
　　（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
　　（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン